

# サニナビ

## 北九州



北九州市保健所  
東部生活衛生課  
広域食品指導係  
小倉北区西港町 94-9  
TEL 093-583-2048  
FAX 093-583-2044

### 中学校給食に異物混入

福岡県田川市の中学校給食で、1学期に6校で計41件の異物混入がありました。

田川市の中学校給食は、福岡市の業者が工場調理し、弁当箱に詰めて学校へ運ぶ方式で行われています。異物は髪の毛や糸のようなもの、数ミリ程度の羽虫の死骸、1センチ四方のプラスチック片、鍋のコーティング材で、製造過程に入ったとみられています。

異物の報告が続いたため、田川市教育委員会は4月末に工場を視察し、改善を要求しました。その後、ヘアネットを気密性の高いタイプに変更、防虫カーテンや捕虫機の設置などの対策も実施しました。2学期に入ってから異物の報告は9月末の時点で白い糸状のもの1件ということです。

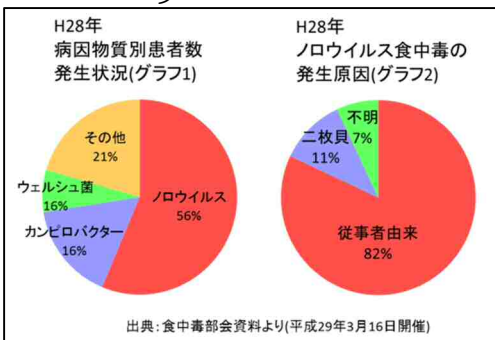
### ノロウイルス流行の季節が近づいてきました

日本では一年を通してノロウイルスの発生はみられますが11月くらいから発生件数は増加しはじめ、12月から翌年1月が発生のピークになる傾向があります。

平成28年の食中毒患者は約2万人でしたが、その内の半数以上がノロウイルス食中毒による患者です(グラフ1参照)。こ

れは、ノロウイルス食中毒は他の食中毒と比べて1件当たりの患者数が多いためです。

また、ノロウイルス食中毒の発生要因の80%以上が調理従事者由来のもので、す(グラフ2参照)。ノロウイルス食中毒による患者を減らすため



には、調理従事者の対策が重要で、**★ノロウイルス予防は4原則**

- ① 増やさない、② 加熱(殺菌)する「です。しかし、ノロウイルスは食品中では増えませんが、ごくわずかな汚染によって食中毒に「つけない」環境をつくるには、施設内に「もちこまない」、持ち込んだとしても「拡げない」ようにする必要があります。ノロウイルスによる食中毒を予防には① 持ち込まない、② 拡げない、③ 加熱する、

④「つけない」の4原則が必要で

① 持ち込まない

ノロウイルスは直径約35〜40nmととても小さく、手指に付着するとしわや指紋、爪と皮膚の間に容易に入り込みます。石鹸を用いたこまめな手洗いを2回繰り返すことが効果的です。

石鹸自体にはノロウイルスを直接失活化する効果はありませんが、手の脂肪等の汚れを落とすことにより、ウイルスを手指から剥がれやすくする効果があります。

また、作業前に健康チェックを毎日行い、健康状態の把握・管理を実行することが必要です。

② 拡げない

施設の日常清掃には200ppm(0.02%)の次亜塩素酸ナトリウムを使用しましょう。ノロウイルスの不活化には200ppm程度の濃度が必要と考えられています。次亜塩素酸ナトリウムは有機物が存在すると、急激に塩素濃度が低下します。糞便・吐物等の処理には100ppm(0.1%)の次亜塩素酸ナトリウムを用いましょう。光により塩素の殺菌力が低下していくため、希釈液は遮光容器に入れて保管し、なるべく早めに1ヶ月程度使い切るようにしましょう。

③ 加熱する

食品中のノロウイルスを死滅(不活化)させるためには、中心温度85〜90℃で90秒間以上の加熱が必要



です。

④「つけない

ノロウイルスは感染力が強く、10〜100個程度のウイルスが体内に入ると感染・発症します。調理前の手洗いの徹底、使い捨て手袋やマスクの着用、調理器具や調理施設の洗浄・消毒が必要です。

### 質問への回答

広域食品指導係には様々な施設の方から質問が寄せられます。その中の一つをピックアップして紹介します。

**Q. 検査はなぜ50g必要なのでしょうか**

A. 検査50gの必要性は、平成8年に堺市の小学校で発生したO157による集団食中毒が発生したことを受けて、厚生労働省が検査について、重量・保存期間・冷凍保存することを決めました。

食品から推定される食中毒菌を検査する場合、最低25g必要になります。また、複数の食中毒菌・ウイルス・化学物質なども想定する必要があります。必要に応じて再検査もあります。このことから全体で50g程度は必要になります。

### 編集後記

秋の夜長ですが、睡眠を十分にとり、おすこやかに過ごしてください。今月の写真は、「モミジ」です。

